

久喜地区更生保護女性会

久喜部会長
やまだ えりこ
山田恵理子さん

菖蒲部会長
しんどう りつこ
進藤律子さん

ばちゃん、



久喜地区更生保護女性会

久喜部会長
やまだ えりこ
山田恵理子さん

菖蒲部会長
しんどう りつこ
進藤律子さん

ばちゃん、

菖蒲部会長
しんどうりつこ
進藤律子さん

久喜地区更生保護女性会

久喜部会長
やまだ えりこ
山田恵理子さん

菖蒲部会長
しんどう りつこ
進藤律子さん

ばちゃん、



います。保護司としても活動する山田さんは、忙しい現代の中で会話が少なくなりがちな親子関係に警鐘を鳴らしつつ、こどもの犯罪や非行を防ぐためには「家族や地域がこどもの変化に気付くことが大事」と話します。

一方、コロナ禍で人と人との交流が少なくなってしまうことを危惧し、ハロウィンや七夕など季節のイベントを積極的に開催しているのは、菖蒲部会の皆さんです。部会長の進藤さんを中心に、こども食堂、地域の植栽など多彩な活動を行う中で、こどもや親への声掛けも欠かさず、常に地域を見守っています。「どちらかと言えば、私は近所のおせっかいおばちゃんなんですよ」と明るく笑う進藤さんは、そんな地域のつながりの中で「気付きがある」と言い

ます。子育てに悩む親、不安を抱えているこども。「私たちが直接できることは限られているけど、社会から置き去りにされてしまったこどもや親子を、行政や学校とつなげることが私たちの役割。そのためには、どこでどんな支援が受けられるかを会として常に勉強しています」

二人は今後の活動への抱負をこう語ってくれました。

「何とかしてあげたい、放っておけない、そんな気持ちをずっと持ちながら、今後も活動を続けていきます（山田さん）」

「こどもたちが犯罪にあわないように、また犯罪を起こさないように…そのためにも、地域で起きていることを見逃さず、これからも地域の居場所づくりをしていきたいですね（進藤さん）」

誰もがやり直せる
社会へ。

一度社会から孤立した人が再び自立しようとするとき、その道のりは決して平坦ではありません。住まいや仕事の確保、生活習慣の見直し、人間関係の再構築。自力では乗り越えられない壁が、いくつも立ちばっかります。

だからこそ、本人の意志だけに

誰もがやり直せる
社会へ。

一度社会から孤立した人が再び自立しようとするとき、その道のりは決して平坦ではありません。住まいや仕事の確保、生活習慣の見直し、人間関係の再構築。自力では乗り越えられない壁が、いくつも立ちばっかります。

だからこそ、本人の意志だけに

地域を見守り
子どもを犯罪から守る

地域を見守り
こどもを犯罪から守る

更生保護女性会は、地域社会における犯罪・非行を未然に防止する啓発活動や、青少年の健全な育成を支援するボランティア団体です。日々の暮らしの中で地域の安全・安心を守り、こどもたちが犯罪に巻き込まれない、犯罪をさせない社会をつくるための活動を積み重ねています。

市内で活動する久喜地区更生保護女性会は設立58年目を迎えて久喜・菖蒲・白岡部会に分かれて※特色ある活動を展開しつつ、お互いに協力し合いながら地域の安全を見守っています。

活動に関心がある方は社会福祉課社会福祉係（内線3224）へお問い合わせください。

※栗橋部会は幸手地区更生保護女性会として活動

更生保護女性会は、地域社会における犯罪・非行を未然に防止する啓発活動や、青少年の健全な育成を支援するボランティア団体です。日々の暮らしの中で地域の安全・安心を守り、こどもたちが犯罪に巻き込まれない、犯罪をさせない社会をつくるための活動を積み重ねています。

市内で活動する久喜地区更生保護女性会は設立58年目を迎えて久喜・菖蒲・白岡部会に分かれて※特色ある活動を展開しつつ、お互いに協力し合いながら地域の安全を見守っています。

活動に関心がある方は社会福祉課社会福祉係（内線3224）へお問い合わせください。

※栗橋部会は幸手地区更生保護女性会として活動

▼特別養護老人ホームのスペースを借りて行う月1回のこども食堂には、同会だけでなく久喜・辛手地区保護司会も協力で訪れる。9月は120食を提供。また、こども食堂と同時に、こどもたちの学習支援も施設内で行っている。



▼菖蒲部会の植栽活動（菖蒲仲橋にて）。暑い時期は毎日欠かさず水やりに来ているという。この日も最高気温38度の中、地域美化に勤しむ姿が見られた。

